ラ フォレ セ ラ ヴィ 一森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie!



ヤルカ村在住のアッサミ氏と苗木の植栽地。

植林を経験して

まず、私たちが暮らすヤルカ村で「村落植林プロジェクト」を続けている「緑のサヘル」と、その支援者の皆さんに心よりお礼を申し上げます。

私は 2017 年からこの活動に参加しましたが、ヤルカ村での植林活動は 2008 年から続けられています。そのおかげで、私たちは森林を再生するために必要な、多くの経験を持つことが出来ました。

この活動は、私たちの生活に大きな変化をもたらしました。ヤルカ村は地域の中央にあるバム湖の東側に位置していますが、湖のほとりの森林が蘇ったことによって周囲の環境も回復して来たのです。また、食事を作るための薪を調達するのはとても大変なのですが、その薪も今では簡単に、たくさん手に入るようになりました。薪を売って子供たちの学費に充てたり、薬や石鹸を購入することも出来るようになりました。

私は村にあるヤルカ小学校の出身ですが、当時は環境に関する授業はなく、もちろん植林も体験しませんでした。私の3人の子供たちもヤルカ小学校に通っていましたが、その頃には既に「緑のサヘル」が「小学校緑化支援」を始めていました。私はPTAのメンバーで、そこで初めて子供たちと一緒に環境の保護について学んだのです。

私も子供たちも、この機会に感謝しつつ、現在と未来のために多くの木を植え続けて行くつもりです。

ヤルカ村 ビルバ・アッサミ

ブルキナファソから



5月中旬現在、ブルキナファソにおける新型コロナウイルス感染者の累計は約 13,400 名(死亡者 160 名強) となっています。現場であるコングシ地域では未だに感染者は報告されておらず、活動も概ね順調に進んでいます。今回は「緑のサヘル」の活動村の一つ、ヤルカ村にお住いのビルバ・スレイマンさんが近況を報告して下さいました。

- ・断食について:4月中旬から5月中旬にかけて、イスラム教徒の重要な務めである断食を行なうラマダン(断食月)がありました。この期間中(30日間)、日中は飲食を控えなければなりません。毎朝5時に起床して、夜明け前に祈りを捧げ、その後に食事をします。夕方になる頃には空腹が募り、喉はカラカラに乾いてしまいます。18時半頃になって、ようやく飲食が許されるのですが、乾季の只中だったので、時に気温が44~45℃に達する等、心身共にとてもきつかったです。
- ・乾季について: 今乾季が始まった昨年 11 月は朝晩の冷え込みが厳しく、2 月には激しい風が吹き荒れました。3~5 月は非常に暑く、どこにいても強烈な日差しが追っかけて来るようでした。いくつかの川や池が干上がり、男性も女性も家族や家畜の飲み水を求めて、遥か遠くにまで水を探しに行かざるを得ませんでした。

· 小学校緑化支援:

昨年10校が計450本の苗木植栽を行ない、 現在も潅水作業が続けられています。5月中旬 時点の残存数は333本、残存率は74%となっています。この活動が素晴らしいのは、単に 苗木を植えるだけでなく、「成績発表会」の開催 によって、生徒たちの熱意を促し、喜んで活動 に参加する気運を作り出していることです。6 月には、2021年度の活動が始まる予定です。

(写真右:子供たちによる潅水:トゥカ小学校。)



· 村落植林:



昨年7村15サイトに計4,759本の苗木を植栽しましたが、現在の残存数は3,755本、残存率は79%となっています。地域のあちこちに出来た森林は、湖岸を崩落から守ると共に、湖へのゴミや土砂の流入を防ぎ、風を食い止めて湖面を静かに保ってくれます。更に、薪の入手を楽にすると共に、販売によって収入を増やしてもくれる等、そのメリットは絶大です。

(写真左:湖岸に植えられた苗木:コラ村)



*敬称は略させて頂きました。

【 会員のみなさま 】

菊地滋夫/碓井道子/野口鉄雄/國岡裕子/菅沼浩敏/向井成彦/新海真理子 伊藤淑子/林裕之/岩永孝子/古川フミ子/塩沢拓夫/坂本有希/石川祐一 立屋敷哲/和田隆資/村井智恵子/永井邦子/伊藤春男/清水貴夫/菅川拓也 株式会社ホーム創建

他 匿名をご希望の方 1名

【ご寄付を頂きました】

山野上素充/ヨシザワユキコ/小松義夫/赤山孝子/加藤文子/矢野友一郎 碓井道子/市川信一/森野孝子/米多喜久男/村上和代/木嶋清子/田中順子 小笠原弘子/佐藤京子/豊島正幸/加藤治郎/松岡亜湖/岩永孝子/太田宜子 増岡一樹/金井晶子/木野友義/徳永由希子/盛岡市立黒石野中学校 2 学年 大阪信愛女学院/一関市立東山中学校/盛岡市立仙北中学校/岩泉町立小川中学校 コーラルハウジング株式会社/Organic,Ecology & FairTrade おいものせなか (公財)毎日新聞東京社会事業団/個別教育フォレスト 安多秀司 かみひとねっとわーく京都 事務局 蛯名健仁・加奈子

他 匿名をご希望の方 7名

【 古本チャリティ募金を通じてご寄付をいただきました 】

藤下昌枝

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

水島多衛子/飯原久仁子/佐々木順平

上記は 2021 年 2 月 1 日から 2021 年 4 月 30 日までにご支援頂いた方、また それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、5 月 1 日以 降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【協力団体・助成団体】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会/トヨタ自動車(株)(公財)毎日新聞東京社会事業団/(株)ブギ/国際ソロプチミスト大阪-中央(特活)環境アリーナ研究機構/LIFULL ソーシャルファンディング環境メディアフォーラム有限責任事業組合/アフリカ料理トライブスソフトバンクつながる募金/(特活)国際協力 NGO センター

事務局より



ご支援をお願いします!

● 会員を募集しています!



「緑のサヘル」を恒常的 に支えて下さいませんか? 年会費は、団体賛助会員 50,000円、個人賛助会

員 10,000円、学生会員 5,000円です。 会員になって下さった方には会員番号を 通知し、当団体のニュースレターと年次 報告をお送りします。

● ご寄付を募っています。



「緑のサヘル」は、多くの 方々の支えによって活動を 続けられています。もちろ ん、いくらからでも OK で

す。どうぞ、貯まった小銭や臨時収入の お裾分け等々、「緑のサヘル」にお託し 下さい! 生徒会や有志による募金も、 大事に大事に使わせていただきます。

● 書き損じハガキや未使用 切手を集めています。



国内での活動には、ハガキや切手も必要です。未使用の切手は、そのまま使わせていただきます。

書き損じハガキは、1 枚 5 円の手数料で同額のハガキか切手、レターパック等に換えることが出来ます。その結果、現地の活動費を増やすことができます。

● 読み終えた本を送って下さい。



読み終えた書籍を段ボールに詰め、所定の業者(「古本チャリティ募金」)に送っていただくと、その買取金

額が「緑のサヘル」へのご寄付になります。平時はもちろん、本棚・書斎の整理、またお引越しに際してもご検討下さい。 (詳細は同封のチラシをご参考下さい。)

< 編集後記 >

今回メッセージを下さったビルバ・アッサミさんと、近況を報告して下さったビルバ・スレイマンさんは、どちらもヤルカ村に暮らすご兄弟です。お二人ともお子さんが3人ずつで、PTAの役員を務めた経験がお有りとのこと。

ご出身校のヤルカ小学校が「小学校緑化支援」に参加していたのは、2009 年~2013 年のことなので、お二人ともこの時期に環境保全や植林活動を身近に感じるようになったらしいです。そして 2017 年、お二人は揃って「村落植林」に参加してくれました。実はこうした例はかなり多く、今後も皆さんにご紹介して行けたらと考えています。 (事務局)

La Forêt, C'est la Vie!

Vol.86

編集 緑のサヘル 東京事務局 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: http://sahelgreen.org/ E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org 〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040/FAX:03-3252-1041